

8月17日（月）

2学期と第Ⅲ期が始まりました

短い夏休みが終わり、2学期が始まりました。朝から日差しが照りつける初日でしたが、生徒たちはいつものように登校し、いつものように学校生活に取り組みました。

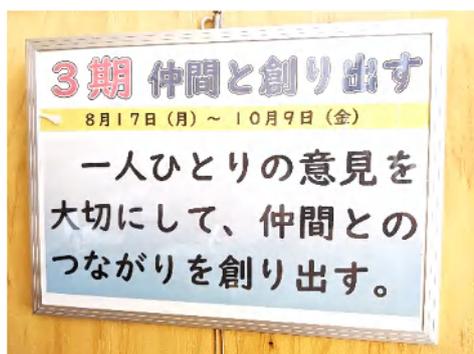
始業式は相変わらず放送を通して行われましたが、生徒たちは各教室で落ち着いて式に臨みました。その後学活が行われ、夏休みにあったできごとや、2学期の見通しなどを確認し合いました。例年のようにいくつもの課題が課せられていたわけではないので、1時間目は余裕のある雰囲気は漂っていました。

2時間目から授業が始まり、休みを引きずらない真剣な姿勢で臨みました。

1年A組とB組の国語の授業では、説明的文章の本論を三つに分けるということに取り組みました。生徒の中から出た分け方は複数あり、生徒たちは自分の分け方の正当性を主張し合い、意見を闘わせていました。積極的な挙手や笑いとおぼやきが生まれ、2学期早々、活気のある授業が展開されていました。



休み明けを感じさせない1年生の国語の授業



この日は第Ⅲ期のスタートでもあります。Ⅲ期は「仲間と創り出す」をテーマとしています。一人一人の意見を大切にして、仲間とのつながりを作り出すことを目指します。中止や変更を嘆くばかりでは何も進みません。この状況の中で、新しいものを創り上げること、それが大切になってきます。

新型コロナウイルス感染症に加え、熱中症にも注意して進めなければならない2学期です。その中で生徒たちが、どのように、どのような仲間とのつながりを創り上げるのでしょうか。とても楽しみです。